演劇集団あり 公演

ゴー・ストップ

粟屋仙吉さんのお話



松島　彩　作「原爆ドームを見つめる」

令和8年度　中山温泉鑑賞会

2026年 **11月15日**（日）

開演 AM10：00（開場 9：30）

場所：生活想像館　わくわくホール

入場無料

開い合わせ先
中山温泉館　☎0858-49-3330

中山温泉館主催

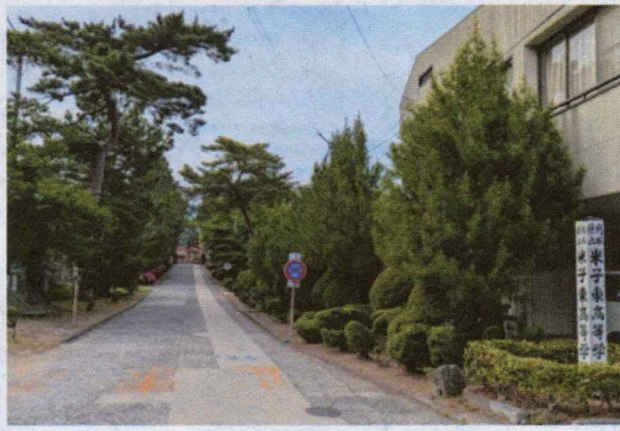




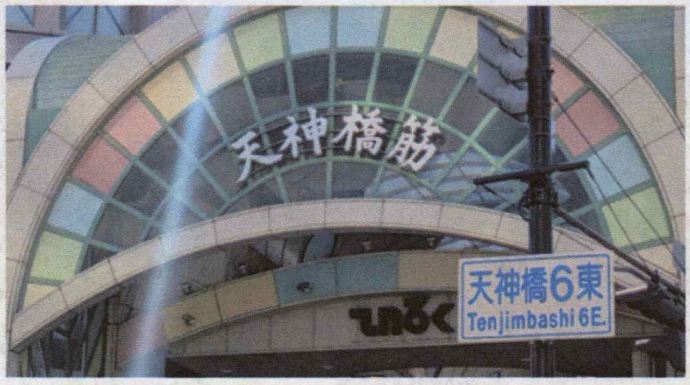
稽古初日2026，4

あらすじ

粟屋仙吉さんをご存じでしょうか？明治２６年生まれ。幼少期から青年まで鳥取県米子で過ごし、米子中学（現鳥取県立米子東高等学校）一高、帝大とエリートコースを進みます。米子中学時代は文武両道。野球部で、柔道五段。カトリック教会で洗礼を受け、筋の通らぬことは許さない。内務省に入省。大阪府警察部長時代、昭和８年、「ゴー・ストップ事件」が起こります。軍人が信号無視で通行しようとすると、巡査が止めます。喧嘩になり双方が怪我をします。どちらが悪いかで、陸軍と警察が大喧嘩になりました。当時の陸軍は強大な権力を持っておりました。警察部長だった粟屋仙吉さんが検察側の最前線に立たされます。悪いことは悪いんだと一歩も引きませんでした。



鳥取県立米子東高等学校



事件の舞台になった場所

その後....

結果、粟屋仙吉さんは、軍部に異議申し立てをした最後の人になりました。その後、軍部は戦争への道をひた走っていきます。そして歴史的な悲劇を迎えます。いくつかの場面でストップする機会があったはずなのです。現在、各地で戦争が起り、罪のない人々、子供たちが無残に殺されています。戦争は人類最大の人権侵害です。ひとたび戦争が始まれば終わりません。愛する家族を殺された人々の憎しみ、痛みは続くからです。だから戦争はしてはならない！地域に埋もれた題材を掘り起こし、デジタル時代に演劇という生の舞台で、物語をお客様と共有し、粟屋さん一家の人生を通して、社会、戦争、家族、未来について一緒に考えていけたら幸いです。

演劇集団ありプロフィール

1970年、宮倉義文他が旗揚げ。1991年宮倉義文作「星の世界の星祭り」国民文化祭（千葉県）創作部門で参加。1992年、米子市文化奨励賞受賞。2010年、劇団創立40周年100回公演。添谷泰一作「わが町、米子」。2012年、添谷泰一作、大山口列車空襲を描いた「昭和二十年、夏」県内各地で上演。2014年 添谷泰一作、トランスジェンダーをテーマにした「パパがママになる日」。各地で公演。2022年、改めて50周年記念公演。その後も、「パパがママになる日」を各地で公演。2023年、2024年、各団体からのリクエストで「昭和二十年、夏。」を鳥取県中心に１０公演上演。2025年、米子出身の作詞家「岡本おさみさん」の評伝劇、「旅に唄あり」添谷泰一作、演出で上演。2025年、因伯短編演劇祭「おさななじみ」上演。ラジオドラマ制作。2026年「ゴー・ストップ」上演。



広島被爆市長公舎跡

主催者募集

- 上演期間　２０２６年　７月～１２月（劇団は土、日の週末希望）
- 上演時間　９０分
- 公演場所　公民館の集会室、学校の体育館、ホール、その他。
- 連絡先 ０９０-４８９６-９１３２（添谷）